

林業普及現地情報
2010-17号 (通算125号)
平成22年11月15日
林業技術センター普及班
記述者 日戸秀正

大日本山林会現地研修会が岩手県で行われました！

大日本山林会は、林業の改良・進歩を目的とし、明治15年に創立されたわが国で最も長い歴史のある林業団体です。総裁は桂宮宜仁親王で、役員、会員には、全国の山林所有者のほか、林野庁OBや林学の大学教授退官者などが名を連ねています。また、月刊誌「山林」の発行も行っています。



この会の平成22年度現地研修会が全国から25名の会員が参加し、岩手県で開催されました。主な視察先は、岩手大学演習林、葛巻町、小岩井農牧、林業技術センターなどで、初日の葛巻町での勉強会では、鈴木葛巻町長、岡田

岩手大学教授、竹川葛巻町森林組合参事が話題提供者を務め、活発な意見交換が行われました。



葛巻ワイン工場、森のこだま館視察の前にご案内した平庭高原では、珍しいシラカバの純林と真っ盛りの紅葉に感激され、葛巻ワインもたくさんお買い上げいただきました。

